

# 競技注意事項

2017 市民スポーツ祭

1 本大会は 2017 年度日本陸上競技連盟競技規則および本大会要項によって実施します。

## 2 ナンバーカード（ビブス）について

- (1) ユニフォームの胸、背に確実につけてください。跳躍競技は胸または背につけるだけでもかまいません。
- (2) トラック競技に出場する競技者には、写真判定用の腰ナンバー標識を配付します。  
ランニングパンツの右横や後方に、そのままの大きさを明確に数字が読めるようにつけてください。
- (3) 腰ナンバー標識はフィニッシュ後、直ちに係（ゴール前方スタンド側）に返却してください。

## 3 ウォーミングアップ場について

- (1) ウォーミングアップ場は、原則としてパロマ瑞穂北陸上競技場・レクリエーション広場とし、**最終種目の招集開始時刻まで使用できます。**  
※レーン使用区分は原則として次のとおりとします。  
1・2レーンは中・長距離、3～6レーンは短距離、7・8レーンはハードル
- (2) フィールド種目は、競技開始前に各ピットで競技役員の指示により行います。
- (3) 瑞穂陸上競技場 2 階室内雨天走路の使用については、晴天時はジョギング程度の使用とし、雨天時は競技役員の指示に従ってください。
- (4) 競技開始前の本競技場のトラックは、ウォーミングアップのために大会の準備に支障のない範囲で、出場競技者に限り最初のトラック競技開始時刻 15 分前まで使用してもかまいません。  
その際、**競技用の器具（スターティングブロック、ハードル等）及び持ち込みの牽引用チューブやミニハードル等の使用は禁止します。**
- (5) 北陸上競技場において、直走路でのスターティングブロックの使用は 100mH の練習を除き、**110mH のスタートライン**から行ってください。（事故防止・安全確保の措置）

## 4 招集について

- (1) 招集所は正面スタンド下、**100m スタート付近競技者ホール**に設けます。
- (2) 招集の受付は本人が行い、時間に遅れた競技者は棄権とみなして出場を認めません。
- (3) 招集開始時刻及び招集完了時刻は、当該競技開始時刻を基準とし、次のとおりとします。

	種 目	招集開始	招集完了
トラック競技	すべての種目	40 分前	20 分前
フィールド競技	すべての種目	55 分前	40 分前

- (4) 他の種目に出場しているなど特別の事由がある場合、代理人での招集を認めますので競技者係主任（招集所）に事前に申し出てください。

## 5 競技場への入退場について

- (1) 入場は競技役員の指示にしたがい行ってください。
- (2) 退場は、下記にしたがってください。  
・トラック競技 フィニッシュ地点退場口から 2 階の雨天走路（全天候）を経て退場します。

## 6 競技について

- (1) トラック競技について  
**この大会は、日本陸上競技連盟・競技規則第 162 条 6・7 により、不正スタートをした競技者は 1 回目で失格とする。**
  - ①スターターの合図は英語とします。（「On your marks」、「Set」）
  - ②小学生のスタートについては、**友の会ルールで実施**します。（10 項参照）
  - ③すべて写真判定装置を使用します。
  - ④トラック競技のレーンは、プログラムの数字で示します。

- ⑤欠場者のレーンは100m～400mではあけます。800mについては競技役員の指示にしたがってください。
- ⑥トラック競技決勝のレーン順は主催者において抽選し、その結果を招集所に掲示します。
- ⑦ タイムによって次のラウンドに進む出場者の決定について、同記録がありレーン数が不足する場合の処置は、写真判定主任が0.001秒の実時間を判定して出場者を決定します。抽選は、番組編成員が該当者をアナウンスにより招集して行います。アナウンスから10分以内に抽選場所に集合してください。
- ⑧短距離競走では、競技者の安全のため、フィニッシュライン通過後も割り当てられたレーン（曲走路）を走ってください。

(2) フィールド競技について

- ①フィールド競技における競技場内での練習は、すべて競技役員の手配に従ってください。
- ②砲丸投を除く投てき競技の計測は、光波測定器を使用します。
- ③フィールド競技で、助走路に使用できるマーカーは主催者が用意したマーカーを2個まで置くことができます。また、サークルから行う投てき競技は、マーカーを1個だけ使用できます。

(3) 競技者は、勝手に競技場所を離れないでください。

競技規則第144条2bで禁止されたビデオ装置・ラジオ・CD・MD・トランシーバーや携帯電話もしくは類似の機器を競技場内で所持または使用することができません。

(4) 不当な行為をした競技者には警告が与えられ、場合によっては当該競技から除外されます。

## 7 走高跳のバーの上げ方

(ただし、天候等の状況により変更する場合があります。)

	練習1	練習2	1	2	3	4	5	
高校男子	1m55	1m75	1m60	1m65	1m70	1m75	1m80	1m90まで 5cm、以後 3cm
中学男子	1m45	1m65	1m50	1m55	1m60	1m65	1m70	以後3cm
高校女子	1m35	1m55	1m40	1m45	1m50	1m55	1m60	以後3cm
中学女子	1m25	1m45	1m30	1m35	1m40	1m45	1m50	以後3cm

※練習はいずれかの希望する高さで行います。

※第1位決定の場合のバーの上げ下げは、走高跳は2cmとします。

## 8 競技用器具について

競技に使用する器具は主催者が用意したのものを使用しなければなりません。ただし、やりについては競技場がないもの、もしくは1つしかない場合は持ち込みを認めますので、希望者は各競技の招集開始時刻の1時間前から招集開始時刻までの間に南側器具庫（フィニッシュライン付近）でやりの検査を受けてください。検査に合格したやりは、預かり証を発行の上、一括借り上げし、参加競技者間で共有できるものとします。

## 9 競技用靴について（競技規則第143条2・3・4・5・6参照）

スパイクの長さは9mm以内とします。ただし、走高跳・やり投は12mm以内とします。スパイクは先端近くで、少なくとも長さの半分は4mm四方の定規に適合するように作られていなければなりません。なお、スパイクの数は11本以内とします。

## 10 小学生の競技について

- (1) ジャベリックボール投げの練習は競技開始前に競技場内芝生で行います。それ以外の場所では危険ですので絶対にジャベリックボール等を投げないでください。
- (2) トラック競技は**タイムレース決勝**で行います。各種目とも決勝において、**1位・2位・3位**の入賞者は記録発表後ただちに本部で表彰します。**スタートのルールは、「小学生友の会」ルールで行います。（各選手1回までフライングが認められます。）**
- (3) フィールド長さの競技は、試技数をすべて3回とします。
- (4) 各種目とも招集時間を守ってください。**招集所は正面スタンド下、北側競技者ホール(100mスタート付近)**

に設けられています。リレーについては4人そろって招集所に来てください。

- (5) リレーのオーダー用紙は、招集完了時刻の60分前までに招集所へ提出してください。
- (6) 競技種目についての規定は以下の通りです。〔各種目とも男女別、学年別で実施します。〕
  - ①50m（4年生） 100m（5年生）
  - ②50mH 高さ65cm 5台【13.00m(S～1台目)―6.5m(各ハドル間)―11.00m(5台目～F)】
  - ③走高跳 背面跳び禁止 最初の高さは、男子1m10 女子1m05とします。
  - ④走幅跳 一般と同じルール
  - ④ジャバリックボール投げ 試技は3回 助走距離に制限を設けません
  - ⑤1000m 競技は2日目に実施します。

## 11 パロマ瑞穂スタジアムの使用について

- (1) 開門時刻は、午前8時00分です。それ以前には立ち入らないでください。
- (2) バックスタンドの上部以外には応援幕等を張らないでください。
- (3) 応援はスタンドで行い、本部席前通路や競技場内に立ち入って行わないでください。
- (4) 清掃・ゴミ処理は、各学校、各自で責任を持って行き、環境美化に努めてください。

ゴミ問題は深刻な状況です。各自「ゴミの持ち帰り」をお願いします。現在、競技会終了後の「清掃・ゴミ処理」は、一部の学校の部員の奉仕活動により行われていますが、その労力は多大なものとなっています。他人に迷惑をかけないよう互いに気を配り、自宅への持ち帰りにご協力ください。

- (5) この大会は清掃当番を、26日(土)は瑞陵高校、明和高校  
27日(日)は熱田高校、向陽高校にお願いしています。

各校の部員は、競技終了後ただちに本部前に集合してください。

## 13 一般的注意事項

- (1) 更衣室は更衣のみに使用し、荷物は置かないでください。  
更衣後の荷物は各自で管理してください。
- (2) 貴重品類は、各自で保管します。万一の事故があっても、責任は負わない。盗難に注意します。
- (3) 応急処置を必要とします。事故が生じたときは、**医務室（フィニッシュ付近スタンド下）**において処置を受けてください。なお、応急処置後の治療は、本人負担とします。

大会2日間は、愛知陸協強化委員会医事部会が、競技者のコンディショニングと応急処置に当たっています。けがの治療だけでなく相談業務も受け付けていますので、積極的に医務室をご利用ください。なお、テーピング用のテープは利用者で負担（持参）してください。

◆選手の人権保護の観点から、写真・ビデオ撮影について、以下の点にご協力ください◆※  
保護者および本人の了解がない撮影を禁止します。

※撮影を許可します。エリアは、スタンドの指定された区域のみとします。禁止された区域での撮影はできません。その他にも、以下の場合の撮影を禁止します。

・選手がスターティングブロックの足合わせをしたり、試技を待っていたりしている間や、身体を動かしているなどの準備を行っている時。

※また他者に著しく迷惑をかける行為として主催者で判断した場合は、すみやかに警察および関係機関に連絡します。

☆今年度も、参加団体の人数に応じて待機場所を指定させて頂きました。  
メインスタンド裏2F雨天走路部分は高校、3Fが中学生、メインスタンド上部（青色の座席部分）北側小学生、南側中学生少人数及び一般となっています。場所取りは絶対に行わないようにしてください。